

王を敬う

2025年5月12日～5月18日

翻訳 キャンベル 栄子

編集 野口 恵美子

御茶の水キリストの教会

わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。

マタイ 16 : 19

今も多く の 国 に 存在 する 君主 制 に、なぜ 私 たち は 興味 を そそ られる ので しょう。私 は 時々 冗談 めかして こう 言 います。「私 たち は かつて 王 制 に 反対 して 戦争 した けど」と。私 たち が もっと 関心 を 持つ べき 王 国 は、神 の 御 国 です。イエス 様 が ピラト の 前 に 立 った 時、ピラト は『あなた は、ユダヤ 人 の 王 です か。』と 訊 きました。イエス 様 は 答え られ ました。『わた し の 国 は この 世 の もの で は あり ませ ん。』

神の御国はすでに到来しました。それはイエス様が治められている天国にありますが、教会を通じて、この地上にも存在します。使徒の働き 2 章 32 節から 36 節にあるように、それはペンテコステの日に始まりました。神様はイエス様を『主ともキリストともされ』ました。キリストはメシア・救世主であり、油注がれた者です。

御国の扉は喜んで入ろうとする者に広く開けられています。イエス様は忠実な人たちをこう招かれます。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』（マタイ 25：34b）

私たちは地上の王国の陰謀に巻き込まれることがあるかもしれませんが、私たちが真に注目しなければいけないのは、イエス様が招いてくださる王国です。この招待状は全ての人たちに送られています。このチャンスを逃さないでください。さあ今こそ返答して、神様の御国の一員として生き、ほかの人たちにも招待状を送りましょう。

祈り お父様、あなたの御子を私たちの王として送ってくださったことに感謝いたします。主から頂いた福音の鍵を使って、まわりの人たちを神の御国へ導くことができますように助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 ヘンダーソンヴィル / セラーズ S・クレイン JR

5月13日（火）

来 て く だ さ る お 方

聖書朗読 使徒の働き 10：1～8

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、私のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。
マタイ 11：28

子供の頃、私はのんびりと後ろについて歩くことが多く、「もうジェシー、行くわよ」と言われることは珍しくありませんでした。それでも遅れ続けると、母は私の手を引き、父だったら私を担ぎ上げでもして、目的地へ向かうのでした。

親は子どもを愛しているからこそ、そして近くにいて欲しいからこそ、子供の元に来ます。神様も同じことをされます。今日の聖書朗読には、『御使いは彼（コルネリオ）のところに来て』とあります。コルネリオは神様の御前にふさわしい人だとみなされたからと解釈することもできます。彼は神様を恐れかしこみ、多くの施しをなし、彼の祈りと施しは神様の前に立ち上って覚えられていました。だから御使いがコルネリオのもとに来てくださった。果たしてそうでしょうか。

いいえ、私たち誰一人して、そしてコルネリオでさえも、神様がわざわざ来てくださるのに相応しい者ではありません。それでも神様は来て下さいました！私たちのようなつまらない者にも神様は近づいてくださいます。私たちがぐずぐずしている時には手を取って、神様が選んでくださった道へと導いてくださいます。神様が求められているのは、私たちが神様の呼びかけに従う、ただそれだけです。

讃美歌 517 われに来よと主は今

祈 り 主よ。今日私が行くべき道を示して下さい。来てください。私の手を取って、どこへでもあなたに従っていく力を与えてください。イエス様の御名によって。アーメン。



テキサス州 ラボック / ジェス・ピーターソン

5月14日（水）

信 仰 の 足 跡

聖書朗読 ローマ人への手紙 4：1～15

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。
創世記 12：1

アブラハムは、未知の目的地への旅を始めた時に、確かに信仰の一步を踏み出しました。今日の聖書朗読には『信仰の足跡』とあります。それを聞くと私は“なだらかな山は登れない”*という表現を思い出します。（*編注：岩山が完全に滑らかだと、掴んで登るための手掛かりや足場がなくて登れない。多少の困難は目標到達に役立つものだ、と励ます場合に使われる。）アブラハムが登る山は決して平坦ではなかったのです。私たちが登る山もそうです。アブラハムは神様を信じました。道がどこへ続くのかわからなくても、神様に従いました。

私たちは時にどこへ続くか分からない見知らぬ怖い道を歩かなくてはならないことがあります。でもそんな時こそ神様に頼り、導きを求めましょう。神様の導きを信じる私たちの信仰は繰り返し報われます。

今日、あなたが歩んでいる道はどんな道ですか。孤独、身体や心の病、死、失敗に終わった結婚、経済的な困難でしょうか。そんな時はまわりを見回して、先人たちの足跡を見てください。そして神様だけが与えることのできる力をもって、今度はあなたの後ろに続く人々を導いてください。信仰があれば一歩ずつ前に進んでいけます！

信仰とは、自分がどこに導かれるかを知らなくても
導いてくださる方を愛し、知っています

—オズワルド・チェンバーズ*

*編注：スコットランド出身のバプテスト派の伝道者・
神学校教師・説教家。1874-1917



讃美歌 270 信仰こそ旅路を

祈 り お父様、あなたが与えてくださった信仰の模範と、いつまでも真実である尊い約束に感謝いたします。イエス様の御名によって、アーメン。

テキサス州 ラボック / アニータ・プライス

5月15日（木）

豊 かな い の ち

聖書朗読 ローマ人への手紙 8：26～28

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10：10

イエス様が言われた豊かないのちとはどういう意味でしょう。物質的な豊かさのことでしょうか。それとも霊的な豊かさでしょうか。イエス様は地上におられた間、人々の現実的な暮らし、幸せや健やかさに目を向けられました。イエス様は病気の人を癒され、目が見えるように、聞こえるように、健康な体となるように癒されました。イエス様の後をついてくる大勢の群衆の空腹を心配し、食べ物を与えられました。

しかし、それがイエス様の関心の中心ではありませんでした。イエス様はご自身がいつまでも地上に留まるわけではないこと、そのため人々が信仰を必要とすることを知っておられました。ですから、この地上を離れるときに、私たちに助け主なる聖霊を遣わすと約束されました。この聖霊の賜物は今まさに私たちのものです。聖霊は弱い私たちを助けてくださいます。今、この瞬間も、まさに『御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。』

私たちの永遠で豊かないのちは、イエス様を着て（編注：ガラテヤ 3：27）新しく生まれ変わった時から始まりました。イエス様の教えと聖霊によって、私たちのいのちは豊かにされていきます。この場所で、この瞬間に、そして永遠に。

讃美歌 500 みたまなる きよき神

祈 り 愛する主よ。聖霊の賜物に感謝いたします。私たちがどのようにしていのちを豊かに持てるかを理解できるようにどうか助けて下さい。イエス様の御名によって。アーメン。



テキサス州 ヘローツ / マーシャ・ダウエル

5月16日（金）

謙 遜 な 性 質

聖書朗読 ローマ人への手紙 12：9～16

互いに一つ心になり、高ぶった思いを持たず、かえって身分の低い者に順応しなさい。自分こそ、知者だなどと思っはいけません。 ローマ 12：16

謙遜は保ち続けるのが難しい心のあり方です。プロのスポーツ選手、映画俳優、教師など、どんな人でも謙遜であろうと苦闘しています。それは熱気球による世界一周旅行よりも難しいことかもしれません。イエス様は、自分が天国への行き方を知っていると自負している人ほど、天国に行くことが難しいと警告されました。その一方で、イエス様は、自分は価値のないものゆえに主に頼って生きていきたいと思っている人こそが、天国へと導かれると言っています。

謙遜を身につけることは簡単ではありませんが、謙遜な人と出会うと心身が元気づけられます。謙遜な人たちと一緒にいると心地よく感じます。では私たちは、どうすれば人の心を元気づけるような生き方が出来るのでしょうか。

謙遜とはただ慎み深く振る舞うことではなく、神様の前で自分が小さなものである、そして自分は他の人に仕えるために召されているのだと自覚することです。自分が評価されることを求めるのではなく、周りの人を高めることに目を向けましょう。今日、賞賛を求める事なく、誰かに仕えるにはどうすればいいのでしょうか。真の謙遜は意識を自分から他者へ向けた時に成長します。

讃美歌 403 神によりて

祈 り 愛する主よ、真の謙遜を見つけ出すことが出来るように助けて下さい。私が思い上がることのないように、どうか私を助けて下さい。私のではなく、あなたの栄光と栄誉を求められますように。イエス様の御名によって。アーメン。

アイオワ州 クレググホーン / ロバート・ブレア

5月17日（土）

互いによく愛し合いなさい

聖書朗読 コリント人への手紙第一 12：27～13：13

また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。 コリント I 12：31

私の息子は牧師の子供として、二つの素晴らしい教会で育ち、多くの人から深く愛されてきました。小さな頃は大学生たちと座り、たくさんの注目を浴びました。彼が大きくなった時に、私たちは家族や親戚から遠く離れた場所へ引っ越しました。その時には、子育てを終えた何組かのご夫婦が、まるで本当の祖父母のように子供たちを迎えてくれました。学校の行事に参加してくれて、公園や映画に連れて行ってくれて、アイスクリームを買いに行ってくれました。私の二人の子供にとって、教会とは常に家族であり、愛そのものでした。

息子が大学に進学した際、新天地である教会を訪ねました。礼拝後にこっそり帰ろうとしたところ、ある女性が声をかけてくれ、周りの人たちにも紹介してくれました。彼女と夫、そしてもう一組のご夫婦が、息子をまた教会の一員として迎えてくれました。彼らは息子を昼食に連れて行き、教会の活動に誘ってくれました。息子の大事な行事に私たちが出席できなかった時には、息子はどちらかのご夫婦を招待し、そのご夫婦は誇らしげに写真を撮って私たちに送ってくれました。このことは息子にとって何の違和感もないことでした。息子は人々に愛され、彼に時間をかけて関わってくれた教会の家族の一員として育ったからです。

すべての愛と親切な行いはキリストのからだを築きます。力を発揮するのに役職や正式な役割は必要ありません。子供達の面倒を見る人、病人に食事を届ける人、お年寄りを訪ねる人、快く訪問者を迎える人等、この人たちは最も大きな使命を果たしているのです。パウロはこう言いました。『その中で一番すぐれているのは愛です。』

讃美歌 II 169 み神のみまえに

祈り 親愛なる神様。私たちが言葉だけではなく、行いをもって互いに愛し合えるように助けて下さい。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ケイリー・イフ

5月18日（日）

神様の完全なる愛

聖書朗読 コリント人への手紙第一 13：4～8

何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

ペテロ I 4：8

私たちは生活を共にしている者同士でもっと愛において成長したいと願っています。教会でも、一緒に仕事をする仲間とも！ ビジネスの世界では棒グラフを使って成長を説明することができます。私は時々、自分の他者への愛部門での成長をグラフ化すると、どんなふうに表されるだろうと思う時があります。寛容はおそらく25%達成、親切は30%、人をねたまないことは最も高い85%、でも自分の利益を求めないことはたったの2%といったところでしょう。

そんな年間収支報告書は間違いなくがっかりでしょう。長い間、救い主イエス様と共に歩もうと努力してきましたが、どうしてこれだけしか成長できていないのでしょうか。自分の努力によって神様の愛を自らの生き方に反映しているか、時々疑問に思います。

しかし輝かしい真実はこうです。神様はイエス様の血を通して、全部門で私の棒グラフを100%と見てくださっているのです。なんと素晴らしいお恵みでしょうか。神様の愛と備えを知ることが出来るとは、有り難さに圧倒され、感動で胸が躍ります。ここで思い出されるのが、完璧がゴールではないということです。むしろ変えられていく過程であり、神様の恵みを知ることこそが、本当に大切な事なのです。主の恵みは十分に頂いています。

讃美歌 II 185 カルバリ山の

祈り 恵み深い主よ。イエス様の血を通して私を見てくださり、同時に、出会う人々への愛において成長するよう教えてください。感謝いたします。イエス様の御名前によって。アーメン。

